

## 再び揺らいだ逗子海岸 守るべきは“静かなファミリービーチ”



今夏の逗子海水浴場

今夏の逗子海水浴場では、海の家による重大な違反が相次ぎました。いずれも過去に風紀が乱れ治安が悪化した「海の家の音楽」に関するものです。市民の安心・安全を守るために、発生した事案と市の見解、私の考え方をまとめます。

### 重大な違反をした海の家

#### 1.「はなれ × HELLY HANSEN BEACH HUS」

申請と異なりラップのマイクパフォーマンスを行い、観客を煽るスタンディングライブに。明確なルール違反で、海岸組合が中止させました。

#### 2.「弥栄 IYASAKA」

ホームページに「サンセットライブあり」と記載し、常時ライブ営業のように宣伝。条例が禁止する楽器演奏に当たり、指摘後に削除されたものの、4回の弾き語りライブが行われました。

#### 3.「ワイルドボア」

大音量・点滅照明・砂浜でのダンスなど、条例で最も厳しく禁じられた「クラブ化」行為が発生。条例制定以来、最も深刻な違反であり、処分を求める声が強く上がっています。



### 私の質問

海の家で発生したこの3件の違反行為について、市長はどう考えているのか？

### 市長の答弁

いずれも条例・規則に反する行為であり、遵守意識の欠如が要因。「営業時間延長」「イベント開催」の試行は申請と異なる実施があり課題も確認された。今後の運営検討会で結論を出していきたい。

### 私の考え方

今回の3件はいずれも条例を軽視した重大な違反であり、「家族が安心して楽しめる逗子海岸」という信頼を損なうものです。

私は以前から、海の家の音楽イベントには慎重な立場を取ってきました。今回の試行は、クラブ化を招く危険性を改めて示す結果となり、今後は従来どおり音楽イベントは禁止すべきです。音楽そのものを否定するわけではありません。逗子海岸では、波の音や潮風、夕陽など自然の魅力を感じてほしい。逗子海岸は音楽フェスの場ではなく、家族が安心して過ごせるファミリービーチであるべきです。私は海岸議員として、再発防止と健全な海水浴場運営の実現に全力で取り組んでまいります。



ワイルドボアのクラブ営業

## 残念ながら総合的病院誘致推進条例は廃止 それでも総合病院誘致を諦めない

9月24日の本会議で「議案第38号 逗子市に総合的機能を有する病院の誘致を促進する条例の廃止」が採決され、賛成8・反対6で可決・成立しました。私は反対討論に立ち、「市民の強い願いで制定された条例を拙速に廃止すべきではない」と訴えましたが、残念ながら廃止となりました。

それでも私は諦めていません。一般質問では改めて総合病院誘致の必要性を訴え、市長から「病院の必要性を否定するものではない」「横須賀・三浦二次医療圏でも回復期・慢性期の病床が不足している」との答弁を引き出すことができました。

これは、市長も病院の必要性を認めているということです。

逗子に必要なのは、急性期・回復期・慢性期を含めた医療機能を担う総合病院です。市民が安心して暮らすために不可欠な医療体制の整備をめざし、今後も病院誘致を訴えてまいります。



### 議案38号 賛否一覧

菊池 俊一	×	眞下 政次	○
丸山 浩章	×	高野 肇	○
八木野 太郎	×	服部 誠	○
桐ヶ谷 一孝	×	田幡 智子	○
佐藤 恵子	×	江渕 真紀子	○
平野 和之	×	加藤 秀子	○
匂坂 祐二	※	橋爪 明子	○
※議長は裁決に加わらない		松本 寛	○

逗子市議会議員  
きくち しゅんいち  
菊池俊一

### プロフィール

1970年2月6日	逗子で生まれる A型
1976年3月	逗子幼稚園 卒園
1982年3月	逗子小学校 卒業
	少年野球/逗子オリーブス
	ミニバス/ファミリーズ
1985年3月	久木中学校 卒業 陸上競技部
1988年3月	逗浜高校 卒業 ラグビー部
1993年3月	日本大学生産工学部機械工学科 卒業 夏は3年間、葉山の海岸監視員を経験
1993年4月	関東自動車工業(株) 入社 開発設計
1998年9月	労働大臣 甘利明 秘書
2002年3月	逗子市議会議員 初当選(6期連続当選) 以降
	逗子小学校 PTA会長(2期)
	逗子中学校 PTA会長(2期)
	逗子市PTA連絡協議会 会長(2期)
	逗子市議会 議長(第61代、第64代)
	関東市議会議長会 副会長
	逗子葉山ラグビースクール 顧問
	逗子海岸ウォーターパーク実行委員会 顧問
	湘南獣医師会 顧問
	逗子7丁目東自治会 顧問
	逗子落書き消し隊 代表
	735style 顧問
	逗子市青少年指導員
	海上保安庁指定 海上安全指導員
現在	
	家族 / 4人家族(妻・長女・次女)
	趣味 / 自動車・SUP・ガーデニング・DIY・スノーボード
	スポーツ / ラグビー・ライフセービング・短距離走

## JR逗子駅ビル 2026年8月着工、 2027年竣工予定

私の一般質問により、これまでほとんど情報が示されてこなかったJR逗子駅ビル新築工事の内容が明らかになりました。

### JR逗子駅ビル新築工事の概要

- ・規模：延床面積 約1,900m<sup>2</sup>、2階建て
- ・用途：物販店舗、飲食店舗など
- ・工期：2026年8月着工 → 2027年12月～翌年竣工予定
- ・2階通路は、なぎさ通り上部を跨ぐデッキと接続できる仕様

当初は「優良建築物等整備事業」を活用する予定でしたが、物価高騰により2階建てに設計変更され、補助金は使えなくなっことも分かりました。

駅前は「逗子の玄関口」であり、市民生活やまちの魅力に直結する重要な事業です。

今後も私は議会で取り上げ、市民の皆さんに分かりやすく情報を届けてまいります。

## 田越川管理用通路の 防犯灯設置を要望

7月22日に下田橋から柳原公園に至る田越川管理用通路が開通しましたが、街路灯がなく夜間は真っ暗で、防犯上の不安が利用者から寄せられています。

反対側の通路には市による設置実績があることから、新規側にも必要ではないかと質問しましたが、通路は県が整備・管理しているため市が直接設置することはできず、市民の声として県に要望していくとの答弁でした。

安全・安心のためには防犯灯は欠かせません。今後も強く要望を続けてまいります。

## 旧野外活動センターに防災機能を

7月30日の津波警報発令時には多くの市民や海水浴客が蘆花記念公園へ避難しましたが、猛暑や休憩所の老朽化、水不足など多くの課題が露呈しました。

旧野外活動センターを改修し、防災備蓄や休憩所の整備、暑さ対策を早急に進めるべきと訴えたところ、市は蘆花記念公園グラウンドデザインに基づき再整備の可能性を調査しており、当面は飲料水や資機材の備蓄を進めていくと答えました。

これまでの訓練や実際の避難で明らかになった課題を放置することはできません。来年の津波避難訓練までに、最低限の備蓄と暑さ対策が講じられるよう求めてまいります。



JR逗子駅ビル建設予定地



開通した田越管理用道路(下田橋～柳原公園)



津波避難訓練が行われた旧野外活動センター

## 逗葉新道の無料化を



8月27日に横須賀市役所で開催された「三浦半島地域 広域幹線道路整備促進期成同盟」の総会では、本年度も「逗葉新道の無料化」が要望事項として盛り込まれました。

私が議長時代に調整した要望は2年目となり、逗子市議会も平成28年に「無料化を求める意見書」を提出しており、長年の課題となっています。

県は「三浦半島中央道路の北側区間が開通すれば逗葉新道の役割が変わるため、適当な時期に無料化について調整する」との立場。市は引き続き粘り強く要望するとしています。

慢性的な渋滞緩和や市民の利便性向上のためにも、逗葉新道の早期無料化は不可欠です。私は市とともに要望を続けてまいります。



逗子新道の料金所



## 逗子7丁目プロジェクトごみステーション問題 近隣住民のごみステーションを設置せよ

逗子7丁目プロジェクト新築工事(AI・Grandir逗子)では、施工者である旭化成ホームズ担当者が私道を「公道なのでごみ収集可能」と虚偽の説明をし、地権者の承諾を得ずに計画を進めるなど不誠実な対応が続いてきました。行政も住民への説明を行わず、わずか数日で新たな誓約書を受理するなど不透明な対応をしています。

ごみステーションは生活に直結する課題であり、市は誓約書を事業者に守らせ、住民が希望すれば環境クリーンセンターが寄り添って対応する方針を示しましたが、「青空会議」での調整にとどめ、住民説明会は行わないとしています。

私は、ごみステーションは地域の重要な課題であり、「近隣住民のごみステーションを設置する」との誓約書を確実に履行させるよう引き続き強く求めてまいります。



問題となっているAI・Grandir逗子

皆様の市政に対するご意見をお聞かせください。

### 逗子市議会議員

きく ち しゅん い ち

# 菊池俊一

逗子市桜山1-14-2

TEL : 070-8401-0942

E-mail : kikuchi@shunichi.jp

[www.shunichi.jp](http://www.shunichi.jp)



HP、フェイスブック、X(旧ツイッター)、インスタ、ブログもご覧ください。